



名古屋市立大学 SDGs活動レポート (2023年度版)



8

働きがいも
経済成長も



SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > JST/JICA国際科学技術共同研究推進事業(SATREPS)ブータンにおける組積造建築の地震リスク評価と減災技術の開発

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

JST/JICA国際科学技術共同研究推進事業(SATREPS)ブ ータンにおける組積造建築の地震リスク評価と減災技 術の開発



研究の概要	地震リスク評価・耐震化技術の開発と普及で、将来の災害に備える ブータンでは、首都をはじめとする一部の市街地で地上5階建てまでの鉄筋コンクリート建築と、2階建てまでの煉瓦建築が多くみられるほか、ほとんどの民家と公共施設が版築*1あるいは割石*2積みで建てられている。プロジェクトでは、ブータンにおける地震研究により得られた地震ハザード評価の結果を加味したブータンの伝統建築である組積造建築の耐震化指針と減災教育マニュアルを作成し、技術者・施工者向けの講習や住民教育を通して、地震に強い地域づくりを支援する。 *1 版築…壁となる部分に両側から板などで枠を作り、その中に建材を詰めて突き固める工法のこと。 *2 割石…石材を任意に割ったもの。
	ブータンの減災を実現する技術の開発で、安心安全な地域づくりに貢献 実大実験に基づく耐震化指針と減災教育マニュアルの運用を、ブータンの災害管理行政に提案し普及させることで国民の防災意識の向上に貢献する。このプロジェクトで開発される技術は、従来の土や石を建築材料とした脆弱な構造の住宅が崩壊することによって発生する災害を克服するモデルとして、他の国々にも普及を目指す。
国際共同研究期間	2017年4月27日から2023年4月26日まで
研究代表者	芸術工学研究科 教授 青木 孝義 内務文化省文化局 局長 ナクツォ ドルジ
関連URL	科学技術振興機構 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 研究プロジェクトWEBサイト
その他	2023年10月13日から10月31日には、成果報告展として、展示・体験ワークショップ「ブータンの幸せのために！」を開催しました。 期間中には、ブータンにおける伝統建築の耐震化を支援するプロジェクトの成果である仮想現実(VR)を使用した減災教育体験も行われました。 展示・体験ワークショップ「ブータンの幸せのために！」

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

交通アクセス

[キャンパスマップ](#)

滝子（山の畑）キャンパス

〒467-8501

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

交通アクセス

[キャンパスマップ](#)

田辺通キャンパス

〒467-8603

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンパスマップ

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

北千種キャンパス

〒464-0083

名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンパスマップ

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

[サイトポリシー](#) [プライバシーポリシー](#) [ウェブアクセシビリティ](#) [学内組織リンク](#) [学外関連リンク](#) [このサイトについて](#)

Copyright(C) NAGOYA CITY UNIVERSITY. All rights reserved.

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 岐阜県白川町・名古屋市立大学経済学部・株式会社コミュニティネットワークセンター共同企画・実施「共同講座」1年目報告 全画面プリント 本文プリント

SDGs活動紹介

岐阜県白川町・名古屋市立大学経済学部・株式会社コミュニティネットワークセンター共同企画・実施「共同講座」1年目報告



活動の概要	2023年3月3日に岐阜県白川町と名古屋市立大学経済学部（以下「名市大」）と株式会社中部コミュニティネットワークセンター（以下「CNCi」）は、社会課題の解決や学生や社員等の育成・能力開発等を目的に連携協定を締しました。 共同講座は、地域課題の解決を目指して、グループワークによる対策案の検討と企画提案を行う「事業構想編」と、提案内容の検証と新たな地域資源の発見を組み合わせて展開する「フィールドワーク編」で構成されます。 2023年4月から9月にかけて学生・若手社員・若手職員が「メディアの活用」「移住促進・観光ブランド化」「高齢者世帯・独居老人を見守る体制づくり」「地域産業の活性化・再生」のテーマで対策立案と、町長・社長・町民の方々への提案を行いました。フィールドワークでは、対策の実行性を高めるための検証とSNSを通じて岐阜県白川町の魅力発信に努めました。
活動の時期	2023年度
関連URL	本学広報誌『創新』Vol.50

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

交通アクセス

キャンパスマップ

滝子（山の畑）キャンパス

〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

田辺通キャンパス

〒467-8603
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンパスマップ

交通アクセス

キャンパスマップ

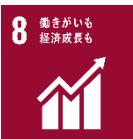
北千種キャンパス

〒464-0083
名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンパスマップ

交通アクセス

キャンパスマップ



令和 4 年 1 月 14 日

報道関係 各位

名古屋市立大学大学院経済学研究科

准教授 下野 由貴 (電話 : 052-872-5063)



(株)ヴィ・ド・フランスとの連携による名古屋市立大学の 学生考案パンの発売について

名古屋市立大学では、平成 26 年度から名古屋市交通局との連携により、「上前津駅の魅力づくり」として経済学部の学生が店舗設置の提案を行い、平成 30 年度には提案内容を生かした店舗として「ヴィ・ド・フランス上前津店」が開業しました。

開業後は商品開発に関する連携を継続して行っており、今年も学生考案の限定商品が発売されることとなりましたので、是非ご取材いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

記

1 発 売 日 第 1 弹 令和 4 年 1 月 17 日 (月) ※第 2 弹 2 月 発売予定

2 商品 概 要

コロナ禍でおうち時間が増える中、「おうちで食するのに購入したい商品」を基本コンセプトに名古屋市立大学の学生から出された多くの提案の中から、企業において開発を進めた結果、新商品として上前津店限定で 2 種類のパンを発売。

商品名	第 1 弹 炙りチキンとアボガドの 胚芽ベーグルサンド	第 2 弹 生ハム・アボガド・オレンジ サンド
税込金額	480 円	450 円
商品 イメージ		
説 明	胚芽ベーグルにレッドオニオン、トマト、炙りチキンをサンドしてアボガドタルタルソースで味付けしました。	生ハム・オレンジ・チーズ・アボガドをフランスパンにサンドしました。